

『豆まきをしました!』

副主任 大村 和弘

まだまだ寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。療育班の皆さんは、元気よく過ごされております。それでは、療育班の様子をお伝えします。

二月四日に豆まきを行いました。豆まきは、各家庭でもされたことがあるとは思いますが、「鬼は外、福は内」と声を出しながら鬼に大豆を投げるといのが連想されると思います。地域によってこの声掛けが違うようなのですが、鬼を外に払い、福を呼び込めるようにという意味が込められています。今回の豆まきでは、実際の豆を使うのではなく、当たっても痛くないように新聞紙を丸めた物やカラーボールを使用して行いました。

鬼がくる雰囲気を感じ取って、来る前から落ち着かない様子を見せる方もおられる等、鬼が出てくると満面の笑みになる方もおられる等、鬼について感じ方がさまざまでした。しかし、職員が「鬼を外へ出そう! みんなで鬼にボールを投げるよ!」と声をかけると、少し怖がっていた方も職員と一緒に元気よく鬼に向かってボールを投げ始めました。鬼は、「イタタター」と言いながら外へ出ていくと、皆さん安心したのか嬉しそうにされていました。

今後も利用者の方に季節を感じられるような行事を計画して行っていききたいと思っております。



いい笑顔!

お、鬼だー!

▲ 最後は鬼の紙芝居をみました!

『新しい封止機』

生活支援員 堀家 めぐみ

ここ数日は日中の日差しが暖かく過ごしやすくなってきていますがまだまだ昼夜の寒暖差が激しい日が続いています。

ウエス班では昨年末に新しい封止機を整備し、年明けから新しい封止機を使っています。封止はシーラーとも言われていて、ビニールやナイロンなどの袋の中に入れてある物が出たりすることがないように袋を圧着することです。ウエス2キロを袋に入れたものを足踏み式のシーラーで熱圧着しています。やはり新しい機械は使い心地が良く、足で踏む力も前の機械に比べると軽い力で済んでいる気がします。これからはケガなどに気を付けながら大切に使用していきたいです。

コロナウイルスなどまだまだまだ予断を許さない状況ですが利用者さんの体調不良を見逃さないよう注意しながら乗り切っていきたいと思っております。



▲ 気づいたらもうこんなに...!? 作業がどんどん進みます♪



踏みやすいから
どんでんできるね!

『氷柱...♪』

生活支援員 堀井 康臣

寒い日が続くかと思いきやその合間に春のポカポカ陽気を感じる日もあります。そんな中日々、野菜たちと向き合っている今日この頃です。

そんなある日、ふと屋外の蛇口を見ているとなんと氷柱が出来ているではありませんか。前日に凍結防止のため蛇口からお水をポタポタと流して帰宅しました。それが一日でこんな芸術作品になっているとは驚きでした。Tさんが「職員さんみんな来て〜」と他班の職員を呼びにいき、「みて〜」とご紹介。皆「すごい!」と驚いていました。まさにバクの鍾乳洞。寒い日も続いていますがあともう少しの辛抱:春の訪れを待ちながら来年度にむけて作付け準備を開始していきます。



▲ かの有名な『氷の渓谷』さながらです



落ち葉で
畑の準備!



『アルコジャーノの販売を広島から全国へ』

サービス管理責任者 松岡 肖幸

二〇二〇年度、コロナ禍で生活様式が大きく変化し、販売地域も福山や広島県内を中心に移動販売や卸販売を展開してきましたが、出店を予定していたイベントは軒並み中止、卸をしている店舗はコロナウイルスによる休業、そのような状況の中、アルコジャーノも販売形態の変化を迫られることとなりました。

その変化がネット販売への参入です。以前より検討はしていたものの、莫大な経費が掛かることや設備や生産量の不安を抱え、なかなか踏み出せないう販売形態は、悔しくもコロナウイルスに背中を押される形で参入となりました。

不安な気持ちは沢山あります。ですが、アルコジャーノのジェラートはスタッフ皆、誇りをもって提供できる商品の日々つくり続けています。大きな土俵で販売することが出来る喜びはその不安をも超え、楽しみでもあります。

一人でも多くの方に、アルコジャーノのジェラートを知っていただける機会をつくりたい。その為に今後でもできる努力を重ねて参ります。

二月中には某大手ネット通販サイトでの販売を開始することとなりますので、来月は皆様にそのご報告をさせていただきたいと思っております。

今後の予定

- 2月13日(土) 土曜開所
- 2月20日(土) 土曜開所
- 2月27日(土) 土曜開所

※行事予定表では「冬の行事」ですが
コロナウイルスの影響で中止となりました。



2月